



株式会社日野エンジニアリング
代表取締役 遠藤 正美氏
産業用システムの開発・設計・施工。1978年設立。
資本金7000万円、従業員15人、売上高4億8500万円
(08年4月期)。

銀行に提出するためだけでなく、経営に生かすための経営計画を作りたい——。産業用システムの開発・販売を行う日野エンジニアリング(東京都八王子市)の遠藤正美社長は、経営危機に直面した時に、そう考えた。その思いは、中期経営計画立案セミナー(将軍の日)で具現化した。



シリーズ
中期経営計画で
企業が変わる! Vol.6

記者 ■ 中期経営計画立案セミナー(将軍の日)に参加されたきつかけはなんですか。

遠藤 弊社は大手電機メーカーの下請け企業として、受注生産で開発・販売を行ってきました。しかし90%を占める取引先の工場移転をきっかけに取引高が激減し、深刻な経営難に陥りました。金融機関にも再建計画の提出を求められました。試行錯誤しながら自分でまとめていたのですが、どうせなら銀行に出すためではなく、本当に経営に役立つ計画を作ろうと考

えたのです。そんな時、あんしん経営をサポートする会の「将軍の日セミナー」に出会いました。

経営情報の公開が社員との一体感につながる

記者 ■ 参加された感想は?

遠藤 こんな素晴らしいお土産(経営計画)を持って帰れるとは思いませんでした。それまで会社の将来像を漠然とは考えていましたが、公言することはありませんでした。計画作成により言葉や数字で表すことで、自分自身のモチベーションが上がりましたし、セミナーの中で何度もシミュレーションを行ったことで、社員や金融機関にも自信をもって説明できました。また、経営理念や5年後のビジョンも明確になりました。はずかしながら社員と共有することの重要性もこの時実感しました。再建の環として、理念やビジョン以外に、役員報酬も含めた経理のオープン化を行うことで幹部社員などの協力体制がより強固なものとなりました。

記者 ■ 中期計画作成後の取り組みは?

遠藤 毎月、予算と実績を管理する会議を幹部とともに行っています。彼らの意識も向上し、先を見据えて自ら考え、実行するようになりました。特に、外注費や材料費など担当者の

工夫次第で変わる限界利益を重視するようになったのです。さらに、目標達成は自分たちの手にかかっているという意識も芽生え、「設計をこう変えたらどうか」など積極的な意見が出るようになりました。毎年このセミナーに参加することで、どんどんロマンが広がっています。このロマンを継いでくれる後継者育成も楽しい仕事です。

ショウグンと将軍の日

この1日が企業の更なる成長を約束!

- 専用システムを活用、わずか1日で経営計画書を作成!
- 5年間の損益・貸借・キャッシュフローを瞬時に確認し、何度でも徹底的なシミュレーションができる。
- 経営成長を目指す経営者のための、少人数制の実践セミナー(毎回6社限定)!

経営者・後継者のための 中期5カ年計画立案セミナー

- 東京会場 4月4日(土) 4月22日(水)
5月1日(金) 5月13日(水)
- 名古屋会場 4月22日(水)
5月14日(木)
- 大阪会場 4月14日(火) 4月23日(木)
5月21日(木) 5月25日(月)
- 福岡会場 4月16日(木)
5月11日(月)

【各回とも10:00~19:00 参加費52,500円(税込み)】

プレゼント

企業の成長に不可欠な「経営計画」について解説した書籍「実践経営計画」をご希望の方全員に差し上げます。下記事務局までお問い合わせください。

運営:「あんしん経営をサポートする会」事務局
(株式会社MAP経営内)

TEL:03-5365-1500
e-mail: cmail@mapka.jp

ユーザーの声が聞ける!

「将軍の日」特設サイト
URL: www.shougun.jp

詳しくはWebで!!

将軍の日